

三島中央病院 だより



撮影者 齋田 英之

TOPICS

インフルエンザ特集

22

2009年秋号

2009/10/7 発行

看護部長ご挨拶
広報三島掲載
インフルエンザ特集
ホームページ広告
ミニレクチャー講演開催中!!
新設!!図書コーナー

看護師に聞いてみよう
近場の名店
栄養課 スペシャルメニュー!!
編集後記
外来担当医表
志仁会理念・患者さんの権利

野中看護部長挨拶



野中看護部長



「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という語句を思い出させる季節になりました。通勤途上の田んぼの稲穂を見て、私は謙虚に物事を受け止める姿勢でいるのかと…自分に問いかけています。

さて、当院が第三者評価である「病院機能評価Ver. 5」を取得し、来年は再受審になります。この4年間、認定病院として恥ずかしくない病院を維持するために、人生の大先輩である患者さんから、多くのことを学ばせて頂き、人間として、看護師として成長していけるよう努力してきました。

このような中で私たちは、看護の基本である患者さんの日常生活援助と、もてる力・自然治癒力発動への援助を、笑顔と思いやりをモットーにして、日々の業務に励んでいます。

まだまだ未熟な、平均年齢31歳という看護集団ですが、今後も皆様のお褒めの言葉やお叱りを頂き前進したいと考えます。

健康上で困ったことがあったら「三島中央病院に行こう」と思っていただける病院を目指します。今後ともよろしくお願いいたします。

野中 美枝子

「広報みしま」 掲載記事

※夜間の救急医療については「広報みしま」や三島市のホームページ等をご参考にしてご連絡下さい。

平日の夜間		
外科 内科 小児科	午後6時 ～ 午後10時	三島市医師会 メディカルセンター (☎972-0711)
外科	午後10時 ～ 翌日午前9時	三島中央病院・三島社会保険病院が当番制で診療（※消防署へ電話で確認してから受診してください。）
外科 内科 小児科	午後8時30分 ～ 翌日午前7時	沼津夜間救急医療センター（☎926-8699） ※木曜日は外科のみ午後11時30分まで

土曜日・日曜日・休日等		
外科 内科 小児科	午前9時～午後9時 (土曜日は午後2時～午後9時)	三島市医師会 メディカルセンター (☎972-0711)
外科	午後9時 ～ 翌日午前9時	三島中央病院・三島社会保険病院が当番制で診療（※消防署へ電話で確認してから受診してください。）
外科 内科 小児科	午後6時 ～ 翌日午前7時	沼津夜間救急医療センター（☎926-8699）
耳鼻科 眼科 産婦人科	午前8時 ～ 午後5時 (日曜・休日のみ)	担当医師が当番制で診療するため、消防署へお問い合わせください。

広報みしま(平成21年9月1日号)掲載記事

◇ 主な救急医療機関

三島市医師会メディカルセンター▶主に入院の必要がない軽症の患者さんの診療を休日・夜間に行っています。

三島社会保険病院・三島中央病院▶三島市の救急医療の中心を担っており、救急医療としては主に

入院が必要と思われる中等症以上の患者さんの診療を行っています。

◇ 専門領域の救急医療

脳外科や循環器の疾患に対する救急医療は、駿東田方圏域の病院群による輪番制によって対応しています。

三島社会保険病院は脳外科、三島中央病院は脳外科・循環器の輪番制に参画し広域救急医療に貢献しています。

◇ 救急隊員への教育指導

三島社会保険病院および三島中央病院では、救急救命士の再教育のための病院実習や、救急隊員と合同の研修として院内で症例検討会を開催し、救急隊員への教育指導を実施しています。

主な救急医療機関



三島市医師会メディカルセンター



三島社会保険病院



三島中央病院

インフルエンザ特集

新型インフルエンザの動向

毎日のように新型インフルエンザのデータが更新され情勢が刻々変わっています。感染対策や治療法についても専門家により意見が異なりテレビや新聞などでも情報が混乱していますが以下に共通な認識をまとめてみました。



- ・ 新型インフルエンザは季節性インフルエンザに比べて軽症ではないこと
- ・ 基礎疾患(慢性呼吸器疾患・心臓病・腎臓病・神経疾患・糖尿病・免疫力が低下している状態など)があると重症化しやすいが、基礎疾患がない若年者でも重症化している症例が多いこと
- ・ インフルエンザ迅速診断キットでは感染していても全てを「陽性」とは診断できないこと
- ・ タミフルやリレンザ等の抗ウイルス薬の早期投与は現時点では効果があること
- ・ 予防には手洗いが有効であること

などです。

しかし異なる点もあります。例えばWHO(世界保健機関)やアメリカのCDC(疾病予防管理センター)の発表では、重症化するリスクの高い人や重症化する兆候を示した人以外は抗インフルエンザ薬を服用する必要はないとしています。9月15日の日本感染症学会の「提言」によれば、“妊婦・乳幼児及び10歳台の小児を含む新型インフルエンザ患者へ早期から抗インフルエンザ薬を投与すること”を勧めています。

薬剤耐性・副作用・財源などの問題もありますが、患者さんとの相談をしながら治療方法を考えて行っているのが現状です。

追記 新薬開発について:

現在日本などで新しい抗インフルエンザ薬が開発中です。現在使用中の薬に比べて効果が更に高いであろうと期待されています。早ければ来年中にも販売され使用可能になるそうです。



例年同様に季節性インフルエンザの予防接種の季節になってきました。新型インフルエンザワクチンが何時からどのような形で接種ができるようになるのかはまだ未定です。(2009年9月28日現在)

内科部長 菊地 宏久

ホームページ広告

三島中央病院ホームページアドレス

<http://mchp.or.jp> です。皆さんぜひご覧下さい！



ミニレクチャー講演開催中！！

2009年8月より毎月第1水曜日(12:15～12:30)にミニレクチャー講演を開催しています。皆さん、ぜひ見に来てください！！



2009年8月5日(水)

記念すべき第1回は循環器 伊藤先生による

『血圧を下げる薬は一度飲み始めると止められないの?』でした。わずか15分の講演とは思えぬ専門的な内容のもので、見学された患者さんより多くの感想をいただきました。



2009年9月2日(水)

第2回は耳鼻科 石田先生による

『アレルギー鼻炎の治療』でした。一口に治療とはいいますが、様々な治療方法があることを紹介してくれました。

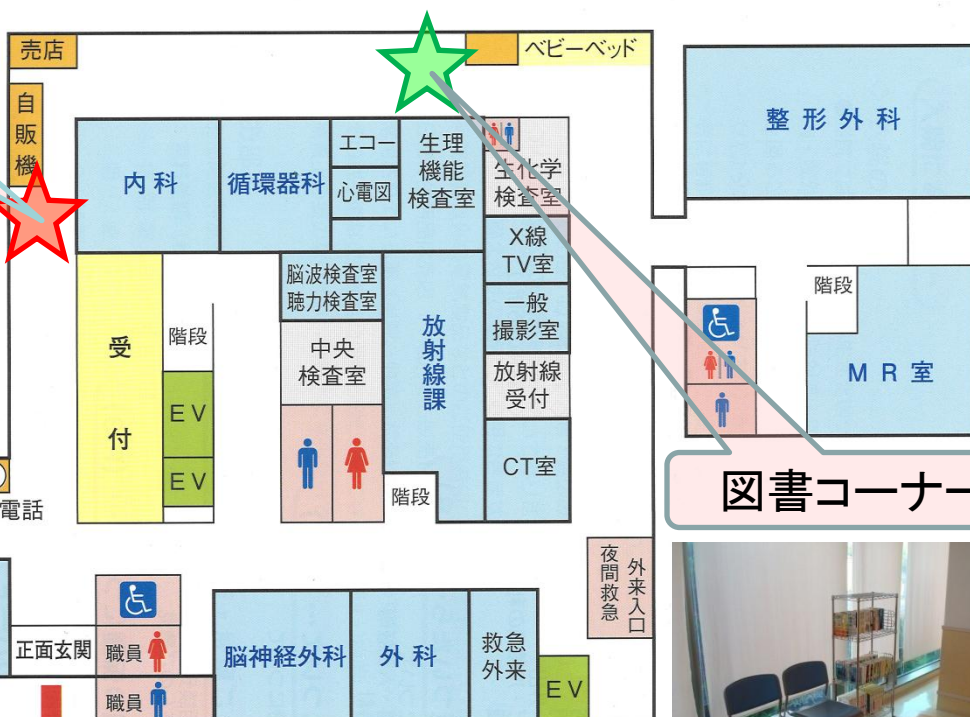


2009年10月7日(水)

第3回は井上悟先生による

『ロコモティブシンドローム』一運動器症候群一でした。普段聞きなれない言葉ですが、井上先生の丁寧な解説とその予防法(トレーニング方法)も聞くことができました。

ミニレクチャー
講演場所



図書コーナー



図書コーナー新設！！

以前より、ご意見箱～「患者さんの声」への投書に『本の種類を増やしてほしい』といった内容の投書がありました。そこで、サービス向上委員会では新たに1F生化学検査室付近(源兵衛川沿い南)に図書コーナーを新設しました。ぜひご利用下さい。

看護師に聞いてみよう!! (第二回)



病棟 2 F 看護師
新川登美子さん

皆さんお待ちかねの「看護師に聞いてみよう!!」のコーナーです。第2回は病棟 2 F 看護師：新川登美子さんです。

(聞き手：広報委員 以下広)

(広)：「まず経歴を教えてください」

(語り手：新川さん 以下新)

(新)：「二人目の子を出産した際に看護師を退職して4～5年専業主婦をやっていました。その後、老人病院の勤務を経て三島医師会附属准看護学院で看護学生の実習指導を4年ほど行っていました。学院の閉鎖に伴い1年半ほど前より三島中央病院に勤務する事になりました。」

(広)：「この病院を選んだ理由は何ですか？」

(新)：「看護学院の実習指導で何度か(当病院に)来るご縁があった事と、募集条件の年齢制限に掛らなかった事(笑)です。」

(広)：「ここで勤務する前からこの病院を見ていた訳ですが、どのような感想を持っていましたか？」

(新)：「とにかく忙しそう、といった感想を持っていました。実習で病院に

来ていたため、ナースステーションの中にも入っていましたから・・・『今日はご免なさい、あんまり学生さんに(指導のため)付いてあげる事が出来ないよ』なんて事もありましたから、えらく忙しいんだろうなあ～って。想像通りでしたけど・・・(苦笑)」

(広)：「想像と違っていたところは？」

(新)：「(想像と)違っていた訳ではありませんが、Dr.やNs間の勉強会などを積極的に行っている事にはビックリしました。」

(広)：「最後に今後の抱負をお聞かせ下さい」

(新)：「現在はまだ教わる事の方が多く、余裕がありませんが、もう少し周りに目を配り後進の指導にあたる事ができるようになれば、と思います。」

以上、第2回「看護師に聞いてみよう!!」のコーナーでした。新川さんのようなベテランが「教わる事の方が多く～」といった謙虚さと初心を忘れぬ心に感動しました。ぜひ長く勤務して後進の指導をがんばってください!!

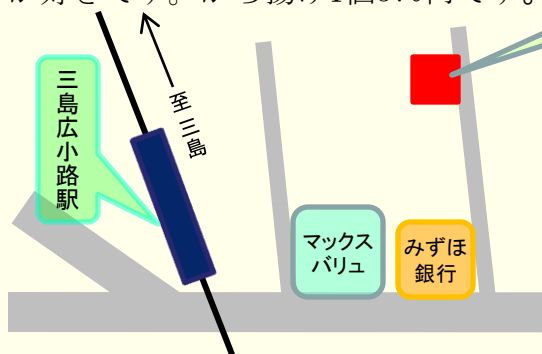
近場の名店

※このコーナーは職員の感想であり、お店の広告ではありません。ご了承下さい

若鳥

知る人ぞ知る鶏のから揚げ専門店。店に入ると優しいお姉さん達がいきなり何本!?と聞いてきます。ここでひるんではいけません。一人前の社会人なら落ち着いて「2本!」と応酬してくさだい。しばらくすると鶏油という温泉にしっかりつかった、でものぼせるまではいいっていない(当然揚げられたという意味ですが)手羽クンと腿チャンのカップルが独特の芳ばしい香りとともに早く食べてと言わんばかりに登場します。早速やけどに気をつけながらガブツ!と一口ちやってください。見事に揚げ上がったから揚げクン達の、外は『ぱりぱり』の食感と中は『じゅーわー』の味わいのハーモニーが口腔内に奏でられます。もうこうなったら、から揚げクン達の胃袋までの遙かなる旅にはビールという相棒が必要不可欠ですよね。ママ!今日もから揚げクン達を紹介してくれてありがとう!!
僕は意外とここの野菜サラダが好きです。から揚げ1個370円です。

若鳥



TEL/FAX 055-975-3261

営業時間

17:00～22:00

休日

火曜日・第3月曜

秋の味覚メニュー！！ ～レンジでチンするだけの簡単料理～

秋と言えば秋刀魚(サンマ)を思い浮かべますが、秋刀魚(サンマ)に負けないくらい美味しい鮭を取り上げます

鮭の主な効用

- ・ 高血圧予防
- ・ 視力回復
- ・ がん予防
- ・ 眼精疲労
- ・ 美容・美肌効果
- ・ 血栓予防
- ・ 白内障予防
- ・ 動脈硬化予防
- ・ 糖尿病予防

★食材の選び方

きれいなピンク色をしていて、脂肪が白い筋状になっているもの。
また、皮膚が銀色に光っているものを、選んで下さい。

鮭のおろし煮1人分 103kcal 塩分2.2g

●材料/1人分

甘塩鮭の切り身	½ 切
大根	¼ 本
生しいたけ	2 個
みつば	¼ 束
市販のポン酢	適量
しょうゆ	適量



★作り方

制作 栄養課：小林 勝呂 内野 宮本

- ①鮭は一口に切り、15～30分くらいポン酢につけておきます。
大根は皮をむいてすりおろしておきます。(水気は切らずにそのまま使います。)
椎茸は軸を取り、半分に切ります。みつばは根元を切り3cmくらい切ります。
- ②耐熱器に鮭、その上に椎茸を入れてラップをして電子レンジで5分加熱します。
大根おろしをかけ、みつばを散らし、しょうゆを適量かけていただきます。



- 感想 味がしみ込んでいて、さっぱりしていました。
みつばの代わりにきょうなや大葉を使っても、おいしく食べられます。

編集後記



日に日に毎日が涼しく感じられるようになってきました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？ 以前より流行が心配された新型インフルエンザですが特集で記載したように、うがい・手洗いが感染予防に有効なようです。少しでも感染拡大を防ぐことができるよう職員一同もうがい・手洗いを実施していくつもりです。皆さんご協力お願いします。

広報委員一同

アクセス

静岡県三島市緑町 1 - 3

- JR東海道線・新幹線三島駅より車で 5 分
- 伊豆箱根鉄道(三島駅でJR線から乗り換え)
三島広小路駅下車徒歩 3 分

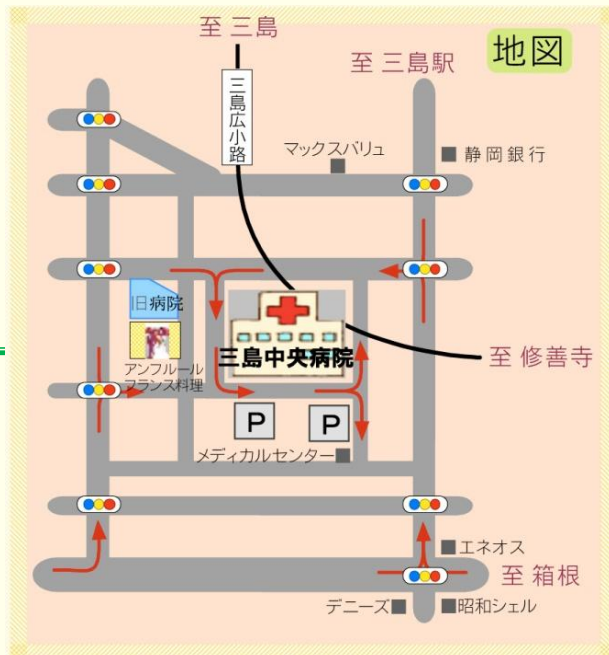
TEL : 055-971-4133

FAX : 055-972-9188

URL : <http://mchp.or.jp>

診療時間

	月曜日～金曜日	土曜日	日曜日・祝日
午前	9:00～12:00	9:00～12:00	休 診
午後	15:00～18:00	14:00～16:00	休 診



外来担当医表 (2009.10.1 現在)

※ 予約診療を基本としております。初診での予約は電話にて承ります。
 ※ 予約外でお越しの方はお待ちになることがございますが、ご了承ください。
 ※ 学会・緊急手術のため担当医・診療時間が変更となる場合があります。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
【内 科】 部長：菊地宏久 【循環器内科】 部長：鈴木清文	午前	鈴木清文(循内) 伊藤(循内)	菊地(内) 権田(内) 鈴木清文(循内)	青山(内) 交替制(循内)	永野(内) 鈴木清文(循内) 古賀(循内)	柳町(内) 伊藤(循内)	筒井(内) (第1・2) 交代制(内) (第3・4・5) 鈴木清文(循内)
	午後	菊地(内) 循環器検査 (予約制)	権田(内) 鈴木清文(循内)	受付17時まで 青山(内) 循内予約のみ	永野(内) 循環器検査 (予約制)	柳町(内) 古賀(循・内)	内科 休診 循環器検査 (予約制)
	※午後の初診受付は17時00分までとなります。						
【外 科】 【消化器外科】 【肛門外科】 部長：水崎 馨	午前	水 崎	斉 藤	水 崎	鈴木衛	斉 藤	水崎・鈴木衛 (2 診)
	午後	検 査	手 術	手 術	検 査	手 術	検 査
【整形外科】 部長：井上 悟	午前	井上幸雄 (第1・2・3・5) 井上悟 金 子 (第4のみ)	井上幸雄 (第4のみ) 井上悟 金 子 (第1・2・3・5)	井上悟 大 島	井上幸雄 大 島	井上幸雄 一 色	井上悟 (毎週) 柳本(第2) (第2のみ2診)
	午後	救急のみ 金 子 (第4のみ外来あり)	手 術	大 島	手 術	井上幸雄 一 色	休 診
	※午後の受付は17時までとなります。 ※第4月曜日は井上(幸)が休診・金子の診療となります。 ※第4火曜日の午前は金子が休診・井上(幸)の診療となります。 ※土曜日は第2：井上(悟)・柳本の2診 第1・3・4・5：井上(悟)のみとなります。午後は休診です。						
【脳神経外科】 部長：中川 修	午前	中 川	中 川	中 川	吉 野	中 川	中 川
	午後	▲中川	検 査	▲中川	▲吉野	▲中川	▲中川
	▲印…初診と救急のみの対応とさせていただきます						
【耳鼻咽喉科】 部長：立松正規	午前	関・石田	関	関・立松	交代制	関・石田	関・立松・石田
	午後	関・石田	立 松	関・立松	交代制	関・石田	立松・石田
	※金曜日の午後の診療は石田医師のみの場合があります。						

当院は、24時間救急体制をとっております

志仁会理念	当法人は急性期医療・介護サービスを中心に個々のケースに適応できる医療を目指します また、地域の医師との連携を強め地域に密着した医療を推進します
病院理念	急性期医療を基本に据え、地域医療に貢献します
病院運営方針	1.患者さんの権利を十分尊重し、心のこもった安全な医療を実践します 2.親切・丁寧・確実な医療を提供します 3.地域に開かれ貢献できる医療を目指します 4.情報提供に基づき、十分な説明と同意による医療を心がけます 5.職員が地域医療に貢献していることに誇りをもてる医療を実践します
看護部理念	三島中央病院の看護職員は、患者さんが安全かつ確実に治療が受けられ、自然治癒力が十分に働くように最良の条件を作り出すように援助します。 又、地域の健康への期待と治療の発展に寄与できる専門職としての看護実践を目指します。 看護の基本方針 1. 私達は、患者さんの安全を守るためのルールを遵守し、医療チームの一員として協働します 2. 私達は、「KOMI理論」を基に患者さんの生活を創造的且つ健康的に整え、患者さんの「持てる力」が十分発揮できるように生活過程を整えます 3. 私達は、患者さん・ご家族の痛み・辛さ・心配や不安を表出せる環境作りとそれを軽減するための努力を惜しみません 4. 私達は、患者さん・ご家族の疑問点等に対して、理解して頂ける言葉で丁寧に説明する努力をします 5. 私達は、患者さん・ご家族に「第一級の看護」が贈れるよう、常に謙虚に自己研鑽します

患者さんとの パートナーシップを 強化するために	医療の質と患者さんの安全確保は、医療提供者のみによる取り組みだけでなく、患者さんと医療提供者とが互いの信頼関係に基づき協働して作り上げていくものであり、患者さんの医療への主体的な参加をもって、より確実なものとなると考えています。 当院では、「良質な医療を受ける権利」「医療に関する説明や情報を得る権利」など医療者として十分守るべき「患者さんの権利」を明示すると共に、「自分自身の健康・生命を守る最高の担い手は患者さんです」という考えのもと「患者さんへのお願い」を提示させていただきました。わからないことがあれば納得するまで質問してください。安全確保のためにアレルギー歴などをきちんとお伝え下さい。いろいろな場所で名前を名乗っていただいたり、点滴の確認をしていただくなどの形で診療に参加していただきます。 お困りの点、お気づきの点などありましたら担当看護師等にお申し付け下さい。投書をいただいても結構です。是非、より良いパートナーシップを築いていきたいと思ひます。
患者さんの権利	当院は、医療の中心はあくまでも患者さんであることを深く認識し、「患者の権利に関するWMAリスボン宣言(世界医師会)」の精神のもと、患者さんの権利を十分守り最良の医療を提供いたします。 1.良質な医療を公平に受ける権利 だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質かつ適切な医療を公平に受ける権利があります。 2.医療に関する説明や情報を得る権利 病気・検査・治療・見通しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。また、自分の診療記録の開示を求める権利があります。 3.医療を自己決定する権利 十分な説明と情報提供を受けただうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。 4.機密保持に関する権利 医療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。 5.尊厳を保つ権利 だれもが一人の人間として、いかなる状態にあっても、その人格・価値観などを尊重される権利があります。
患者さんへのお願い	当院は、医療における医師及び医療従事者と患者さんの信頼関係が築けるよう患者さんにも協力をお願いしています。 1.自分自身の健康・生命を守る最高の担い手は患者さんです。その患者さんと共に私たちは医療を進めていることをご理解下さい。 2.良質な医療を実現するために、医師をはじめとする医療従事者に対し、患者さん自身の健康に関する情報を出来るだけ正確にお伝え下さい。 3.納得できる医療を受けるために、医療に関する説明が良く理解できない場合は納得できるまでお尋ね下さい。 4.医療の安全性を保ち、他の患者さんの安寧を損なわないように定められた規則をお守り下さい。 5.医療の安全性を高めるための努力を最大限に行っていますが、あらゆる医療行為は本質的に不確実であり、意図せざる結果を生じる可能性があることをご理解ください。